授業科目	在宅保育					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期
担当教員	藤田　稔子、池田　佐輪子						
授業概要	地域型保育給付の一つとして居宅訪問型保育が位置づけられ、また、地域子ども・子育て支援事業の一環として一時預かり事業、延長保育事業、そして病児保育事業における訪問型保育事業が展開されています。さらに仕事・子育て両立支援事業が創設され、企業主導型ベビーシッター利用者支援事業もあり、多様な働き方改革の一環として、我が国の保育サービスは多様化を見せ、今後の社会ニーズに対応できる柔軟なきめ細やかな機能を持つ保育が注目されています。この家庭訪問による保育に必要な特殊な知識および技術を修得することを目的として開講します。なお、本科目は、認定ベビーシッター資格取得のための必修科目です。						
授業形態	講義			授業方法	技術演習		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1. 居宅訪問型保育とは何かを説明できる 2. 居宅訪問型保育者に求められる基本姿勢と家庭訪問時の心構えについて説明できる 3. 家庭訪問時に必要になる日常生活援助にはどのようなものがあり、どうすればいいか説明できる 4. 居宅での保育におけるあそびの計画が立案できる
理想的レベル	1. 居宅訪問型保育とは何かを説明できる 2. 居宅訪問型保育者の職業倫理と配慮事項が説明できる 3. 居宅での日常生活援助の基本的な技術ができる 4. 居宅での保育におけるあそびが展開できる

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト	30%	
レポート	10%	最終レポート
発表（口頭、プレゼンテーション）	10%	手作りおもちゃの発表
レポート外の提出物	10%	手作りおもちゃの課題
その他	40%	技術演習への取り組み度（池田担当分 20 点、藤田担当分 20 点）

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	-	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	CH21326J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
（予習）シラバスで次回の内容を確認したうえで、必要な事前準備をしてきてください （復習）各回で指示を出します	4

授業計画

第 1 回	テーマ：オリエンテーション、居宅訪問型保育の概要（藤田） 本科目および認定ベビーシッター資格についてオリエンテーションをおこなった後、居宅訪問型保育について社会的背景を始め、制度について解説する

第 2 回	テーマ：居宅訪問型保育の実際（池田） 実際の保育の様子の DVD を視聴し、集団保育との違い等の気づきを深めていく
第 3 回	テーマ：居宅訪問型保育の運営と倫理観（藤田） 居宅訪問型保育の業務及び運営について解説する。また、家庭訪問時のマナーを説明し、倫理観について言及する
第 4 回	テーマ：居宅訪問型保育の専門性（池田） 保育の専門性と保育マインド、家庭支援及び虐待について解説する
第 5 回	テーマ：様々な家庭訪問保育（藤田） 送迎・同行保育、学童の保育、海外の子どもの保育、訪問型病児保育について解説します。
第 6 回	テーマ：居宅での保育におけるあそび（池田・藤田） 個別保育でのあそびの意義と具体的内容を解説し、次回以降の演習のガイダンスをおこないます
第 7 回	テーマ：保育技術実践 1【あそび】（池田） 居宅における個別保育の実践を学びます
第 8 回	テーマ：保育技術実践 2【あそび】（池田） 居宅における個別保育の実践を学びます
第 9 回	テーマ：保育技術実践 3【あそび】（池田） 居宅における個別保育の実践を学びます
第 10 回	テーマ：保育技術実践 4【あそび】（池田） わらべうた、子守歌、そのほかのあそびを学びます
第 11 回	テーマ：保育技術実践 5【お世話】（藤田） 妊娠・出産・産褥のお母さんの身体と心の変化について知り、一般家庭訪問保育における産後ケアの在り方を考察する
第 12 回	テーマ：保育技術実践 6【お世話】（藤田） 居宅における産後ケアの家事支援のうち、特に授乳期の食事を学びます
第 13 回	テーマ：保育技術実践 7【お世話】（藤田） 居宅における産後ケアのうち、家庭でおこなう新生児ケアを学びます
第 14 回	テーマ：保育技術実践 8【お世話】（藤田） 居宅における肢体不自由児等障がい児のケアについて学びます。また、産後ケアの家事支援のうち、掃除・洗濯等について解説します
第 15 回	テーマ：まとめ（藤田） 本科目の学びを振り返り、集団保育と訪問型保育の在り方についてまとめ、小テストおよびレポートを作成する
テキスト	家庭訪問保育の理論と実際 第 3 版　　公益社団法人　全国保育サービス協会・監修　　中央法規
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	講義の中で適宜ご紹介します
課題に対するフィ	・提出された課題にはコメントを付けて返却します ・小テストと最終レポートは採点した後返却します

ードバックの方法	
学生へのメッセージ・コメント	・本科目は、保育の既習科目が基となる応用的内容であるため、保育士資格取得にかかわるすべての科目を復習しておく必要があります ・認定ベビーシッター資格を取得するためには、保育士資格取得見込み（必修科目および 9 単位以上の選択必修科目の単位取得）と本科目の単位取得が必要条件となります。 ・居宅訪問型保育は、施設型集団保育とはまた違った魅力があります。ぜひ、多様な保育サービスについても興味関心を広げてください